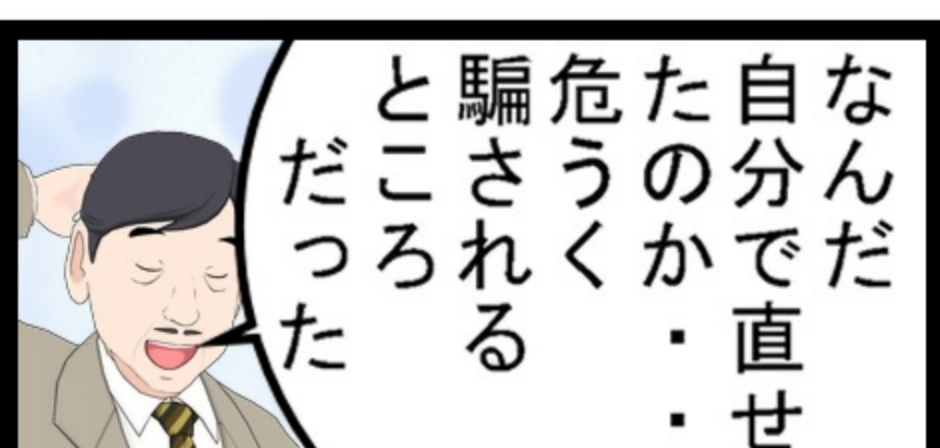
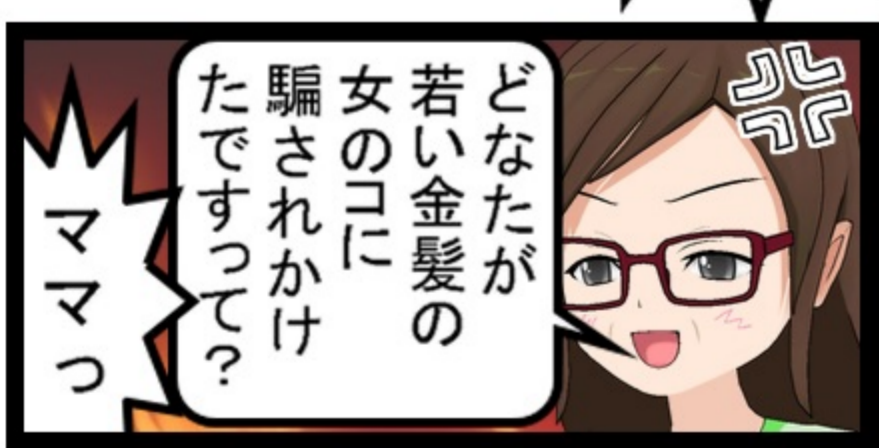
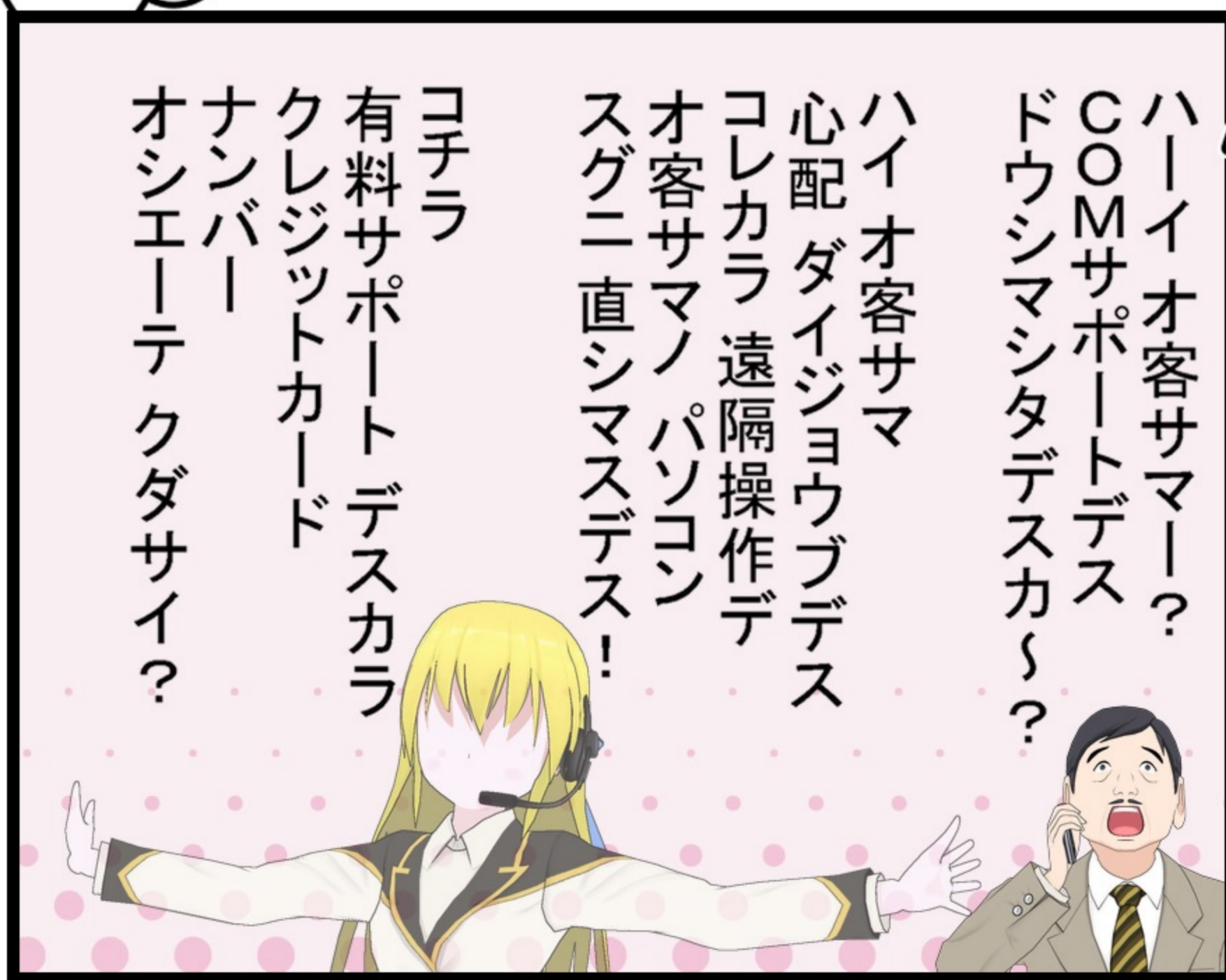




偽警告サイト・偽サポート請求にご注意!!



ある晩のこと
インターネット中に
突然画面が固まって...



なんと自分で直せます。
キーボードの **ctrl alt del**
の3つのボタンを同時に押してください。
画面が切り替わったところで、「再起動」を選択するか「タスクマネージャー」を選択するかして、ブラウザソフトの起動状態を停止すれば解決です。
詳しくは裏面をご覧ください





偽警告サイト・偽サポート請求の被害予防と対処方法

パソコンの復旧方法

どこを押しても閉じない状態

1 **ctrl alt del**
このボタンを3つ同時に押します

メニューが表示された状態

2 タスクマネージャーを選択します
※右下のメニューから再起動を選んでも復旧できます！

ブラウザ画面に「ウイルスが検知された」などと表示されても、指定の連絡先に電話をかける必要はありません。

ここでは、Windows10のタスクマネージャー呼び出し方法と起動中のブラウザの停止方法をご紹介します。

タスクマネージャーが表示された状態

3 起動中のブラウザソフトを右クリックで選択し、表示されるメニューの中から「タスクの終了(E)」を選択することで、起動を停止することができます

セキュリティ対策ソフトで被害予防

事例のように突然パソコンから音声の流れるととても不安になり「本当にウイルス感染してしまったのでは？」という気持ちが強くなってしまいます。

メッセージはウイルス感染とは関係なく再生されます。不安を感じても、画面に表示された連絡先への電話は不要です。ウイルス感染の確認はセキュリティソフトでウイルススキャンをしましょう。

ウイルス感染防止の基本対策として、セキュリティソフトを導入し、利用しているソフトウェアのアップデートを心掛けましょう。

もしも、クレジットカード番号を覚えてしまったら！

偽警告は、いかがわしいサイトへアクセスしようとした場合に限らずどのサイトでも発生する可能性があります。

不安や焦りで偽サポートへ電話をかけて、クレジットカード番号や名前などを覚えてしまった場合は、すぐにクレジットカード会社へ相談し返金手続きが可能かどうかなど尋ねてみましょう。

クレジットカード会社から、相手とやり取りした内容が分かる資料の提出を求められる可能性もあります。相手から受け取ったメールやファイルなどを印刷するなどして保管しておきましょう。

また、遠隔操作をさせてしまったパソコンは、遠隔操作ソフトをアンインストールし、ウイルス感染がされていないことを確認するか、パソコンを初期化するなどして安全を確かめてから利用しましょう。